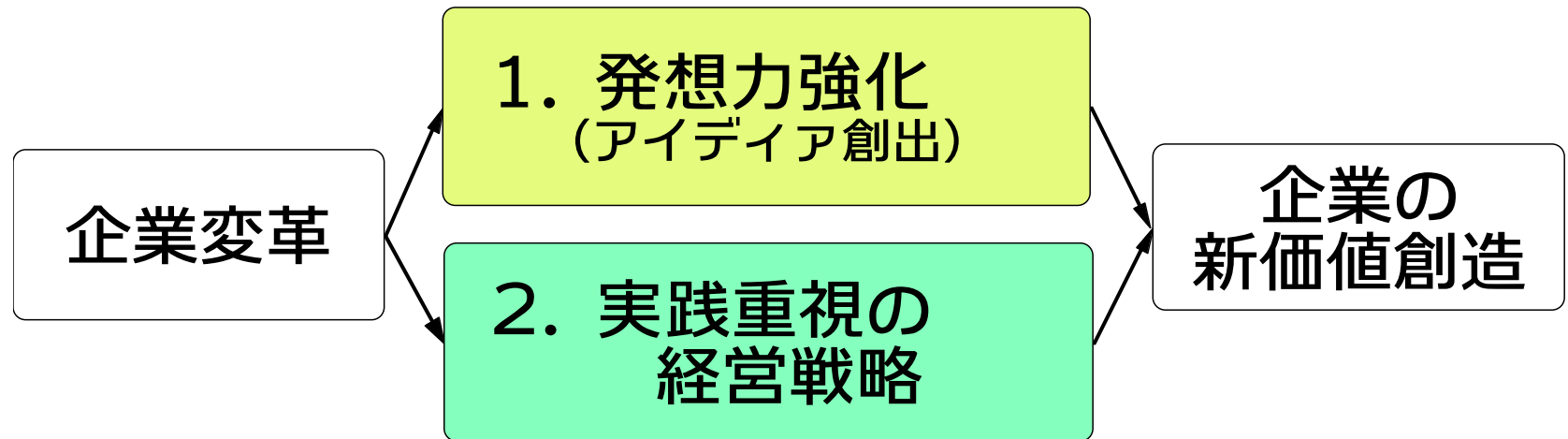


# これからの企業変革

図解中心のプレゼン



**B I Cコンサルティング**

中小企業診断士 岩間 文雄

090-2637-1164

2025.9.13更新

# 1. 発想力強化(アイディア創出)

アイディアこそがあなたのビジネスに  
精神と生命を吹き込み  
あなたの手腕を発揮する！

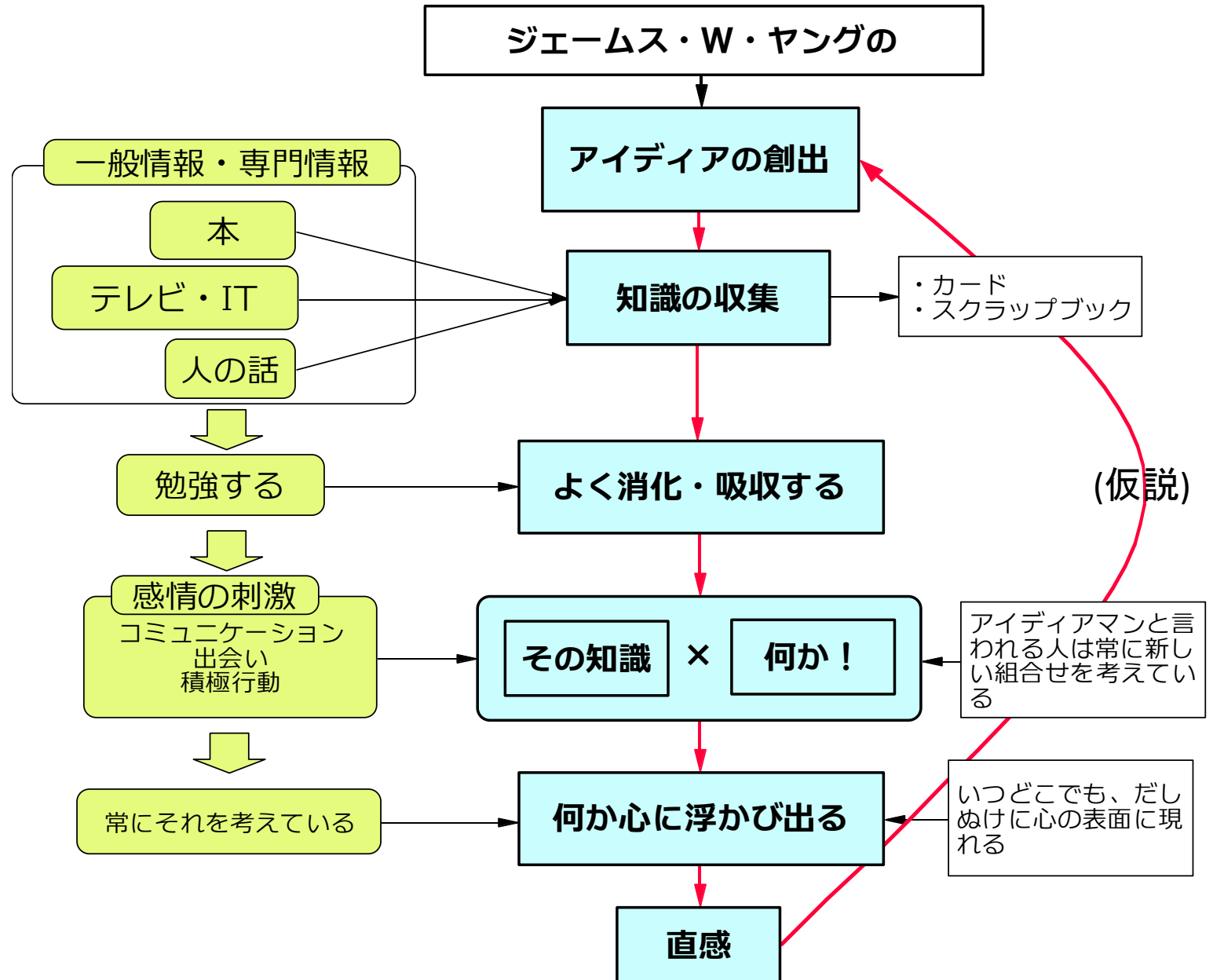
ジェームス・W・ヤング

ビジネスはモノをうるのではなく、**アイディア**を売る。  
アイディアとは、**既存の要素の組合せ以外**のなにものでもない。  
「アイデアの作り方」ジェームス・W・ヤングより

生まれ：1886年1月20日

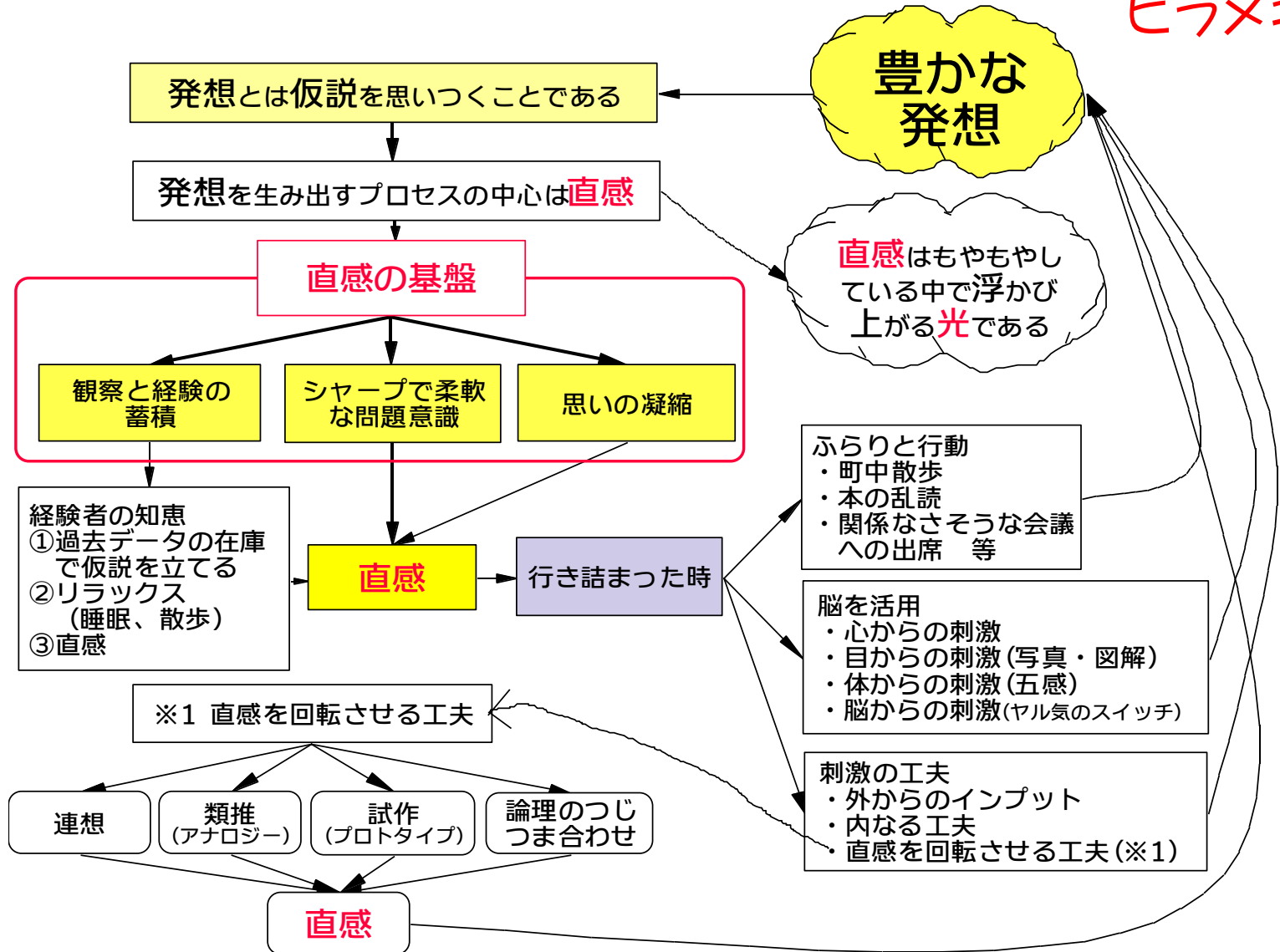
初版本：1940年(昭和15年)アメリカ

# ① アイディア創出の手順 (85年前)



# ② 発想(仮説)を生み出すのは直感

ヒラメキ



# ③ ヒラメキを生むには十分な睡眠

人生で好奇心・野心を持った！

情報収集

過去の経験

中高年の年齢を重ねて到達できる思考には境地がある。茂木

情報の蓄積

日記やメモ等は**メタ認知**を高める。人間の記憶は一晚置くと脳の中で整理される。**つまり自分の考えを客観的に見つめる**ことができる。これをメタ認知という。

⑤へ

十分な睡眠は**ヒラメキ**を促進する。独リューベリック大学の研究。英科学誌ネイチャーで発表 2004.3.22

十分な睡眠

大豆食品にはメラトニン(快適ホルモン)の元となるトリプトファンが含まれているので、夕食の味噌汁は良質な睡眠が得られるとのこと。

脳を鍛える原則

- ①読み、書き、計算
  - ②コミュニケーション
  - ③目的を持って指を動かす
- 川島

脳細胞  
活性化

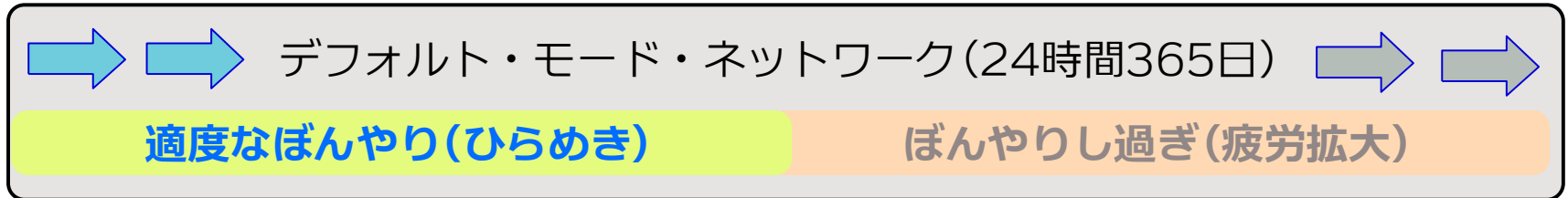
脳細胞の活性化はウォーキング

ヒラメキを生む

# ④ DMNの活性化でヒラメキ！

デフォルト・モード・ネットワークとはぼんやり状態のこと。

DMNの活性化とは適度な**ぼんやり状態**、**過度なぼんやり**は疲労が拡大します。



音楽、散歩、旅行、別荘、神社等

朝から1日中テレビの見過ぎ

## 参考

DMNは、ぼんやりしているときに活性化して海馬にアクセスして、情報処理をします。その時、ひらめきを生むことが分かりました。しかし、ぼんやりし過ぎは、逆に活性化が過大となり疲労が拡大するため適度な時間が有効です。

聞き慣れた音楽をBGMにするとミスが起きにくい。音楽を聴きながら同じ仕事をする、ミスが起きにくいという研究があります。

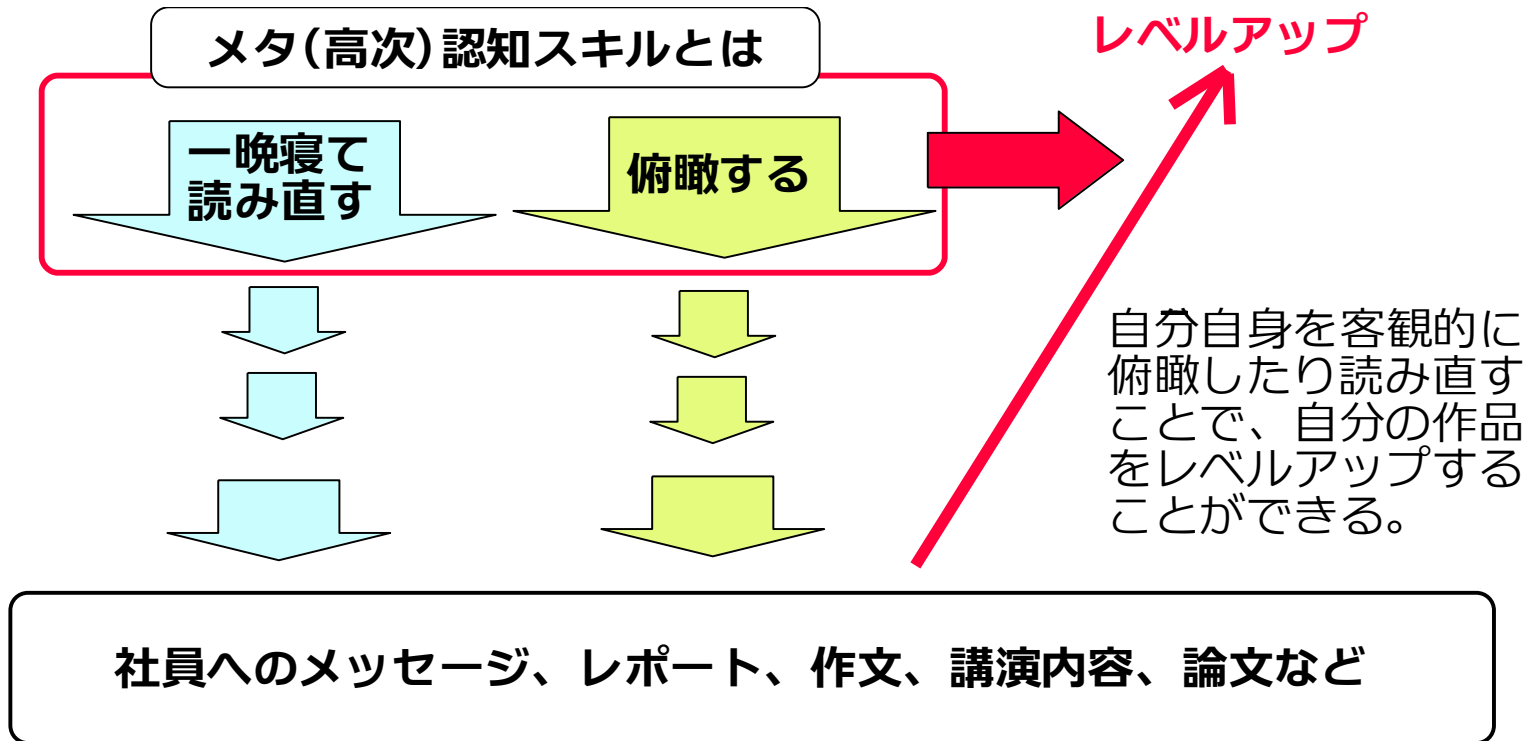
脳の前頭葉にある脳のメモ帳(ワーキングメモリ)に負荷を与えないものが良く、すごく聞き慣れていて、さらさら流れていくような曲を選ぶといいとのこと。

音楽を聴きながら作業をしているときには、脳の「側頭頂接合部」「頭頂連合野」、そして「デフォルト・モード・ネットワーク」の活性が高まることを確認しており、いずれも「ひらめき」に関わる脳の部位です。

篠原菊紀氏(公立諏訪東京理科大学工学部情報応用工学科教授)のHPより

# ⑤ メタ認知はスキルを高めます！

(高次・俯瞰の意味)

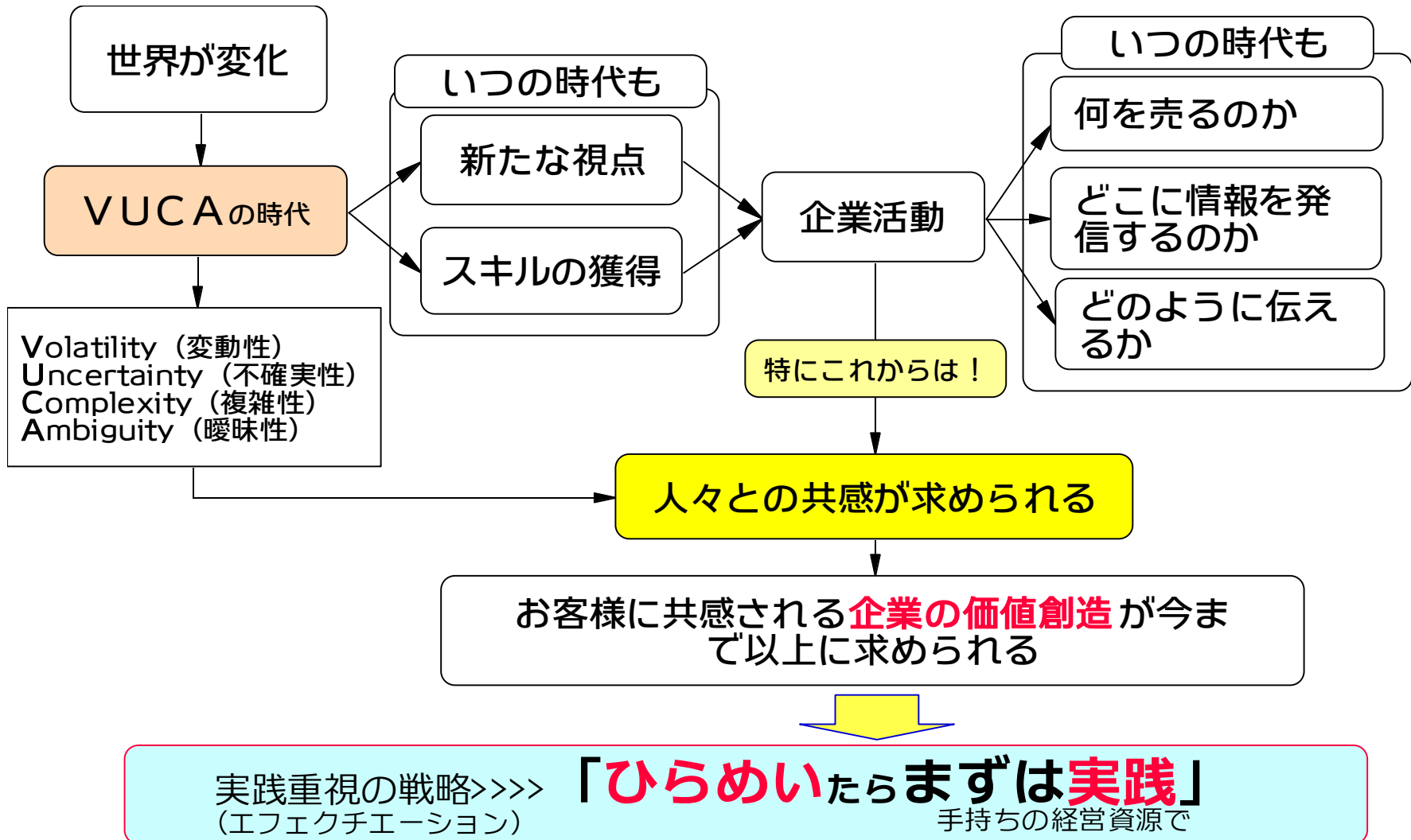


メタ認知スキルが高くなると、**俯瞰して物事を見る事**が出来るため、リーダーシップ力が高まります。

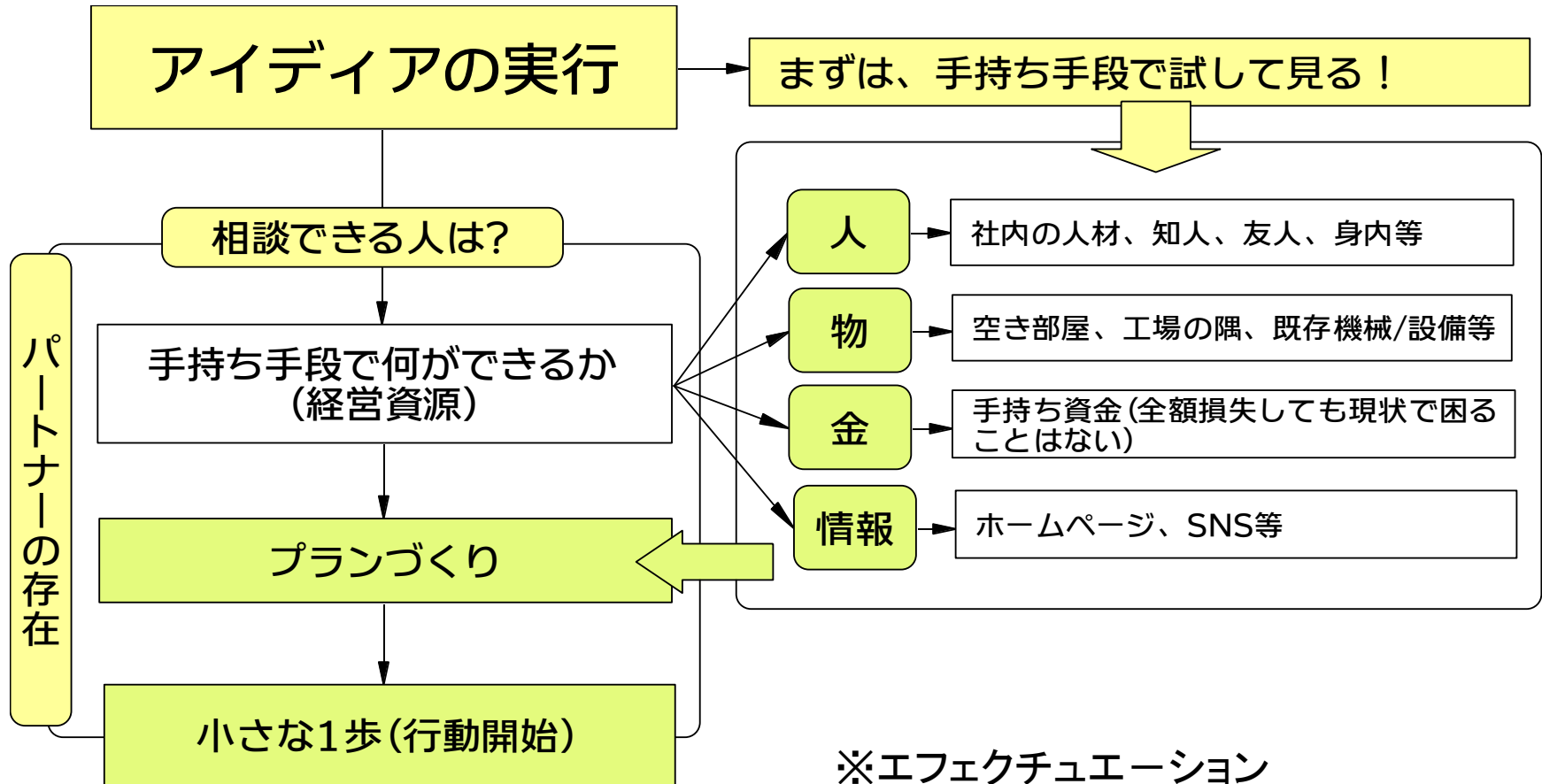
## リーダーシップ

- チームメンバーを勇気づけることができる
- 目標を設定してメンバーを導くことができる
- メンバーからの信頼性が高まる

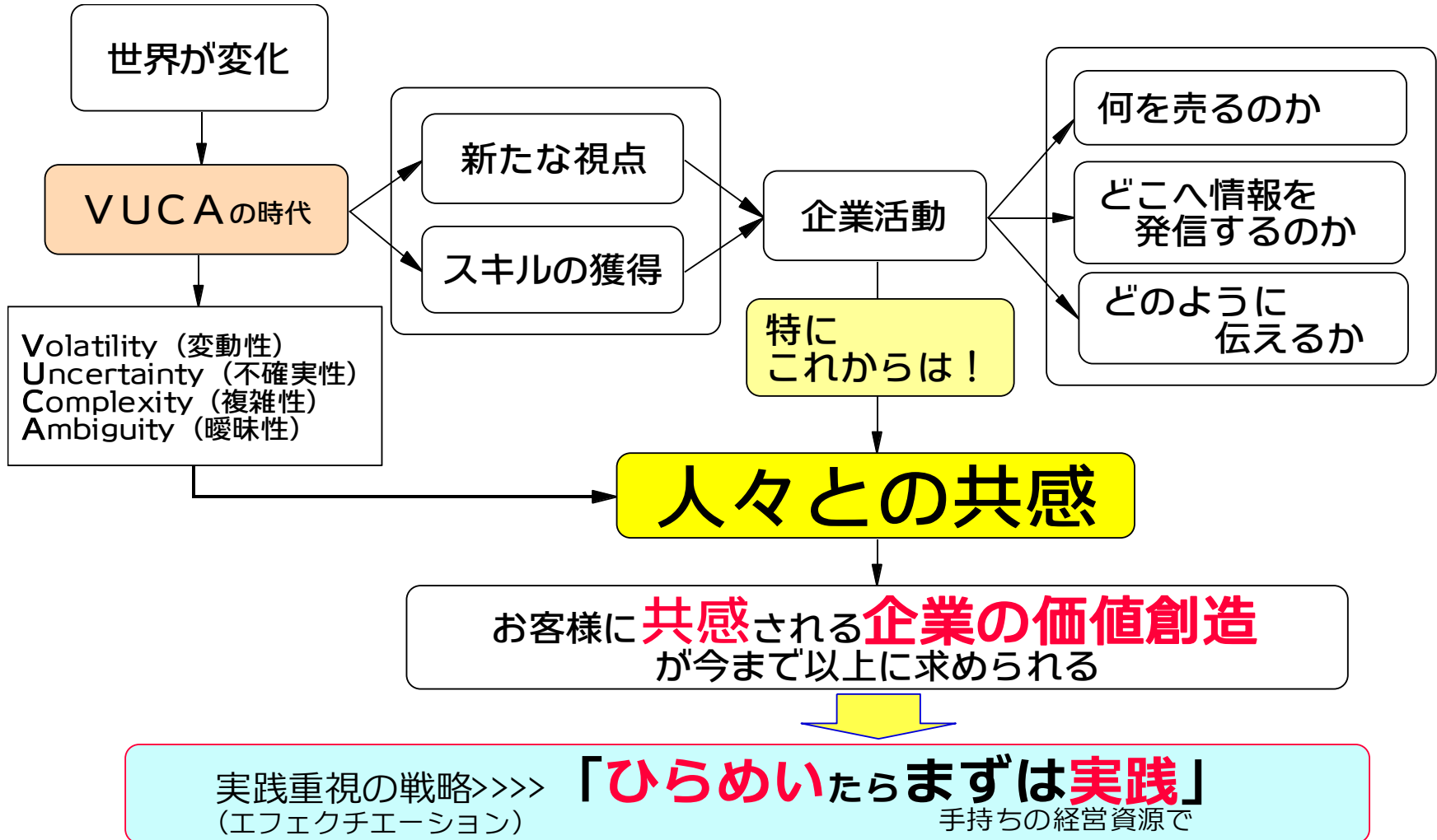
# ⑥ 今、特に求められるヒラメキの実践



# ⑦ アイディア(ひらめき)の実行は まずは**手持ち手段**で実践します！ (自社の経営資源※)

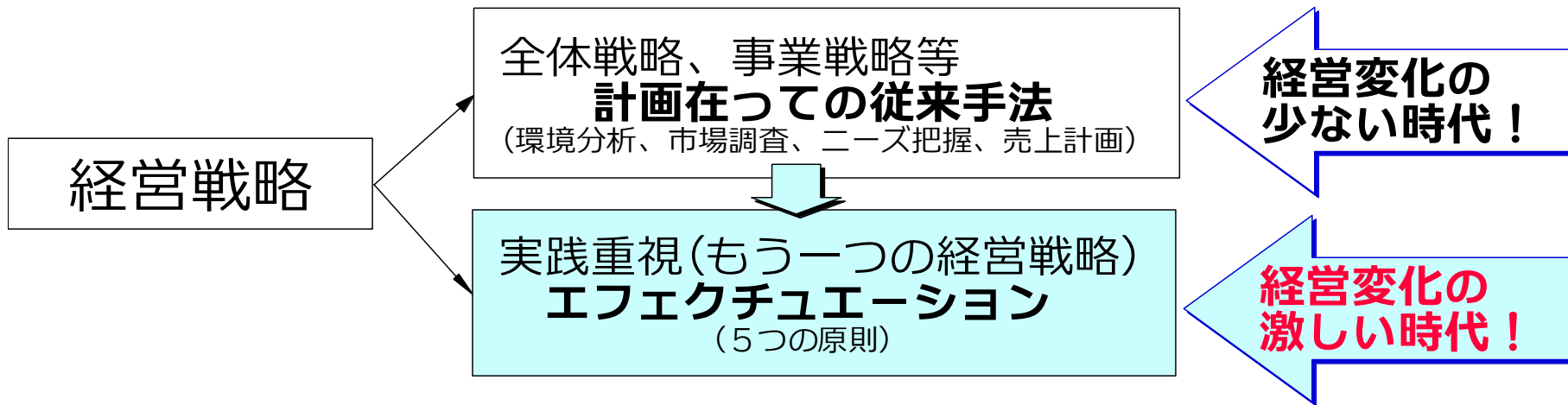


# ⑧ 共感される企業価値創造



# 2. 実践重視の経営戦略

## エフェクチュエーションを知る！



**参考** 一般に経営戦略と言うと「市場調査」「売上目標」等を、事前に十分な検討を行い事業計画書を作成して実行します。

経営者の中には、「感」とか「まずはやってみる」の実践を重視する方がおられます。そして、出合いやコミュニケーションしながら人的ネットワークの構築を行い、変化に対応する経営を実践されています。

エフェクチュエーションとは、サラス・セラスバシー教授がカーネギーメロン大学の博士課程在学中に、ノーベル経済学賞受賞のハーバード・サイモン教授の指導のもと実施した研究から発見されました。

新しい市場や産業の創造という、極めて不確実性の高い問題に繰り返し対処してきた熟達した起業家を対象に意思決定実験を行い、共通して活用する思考様式を見出しました。

# ① エフェクチュエーションとは

偶然の**ヒラメキ** (思いつき)があった！

自社の新しい**ビジネス**につながらないか！

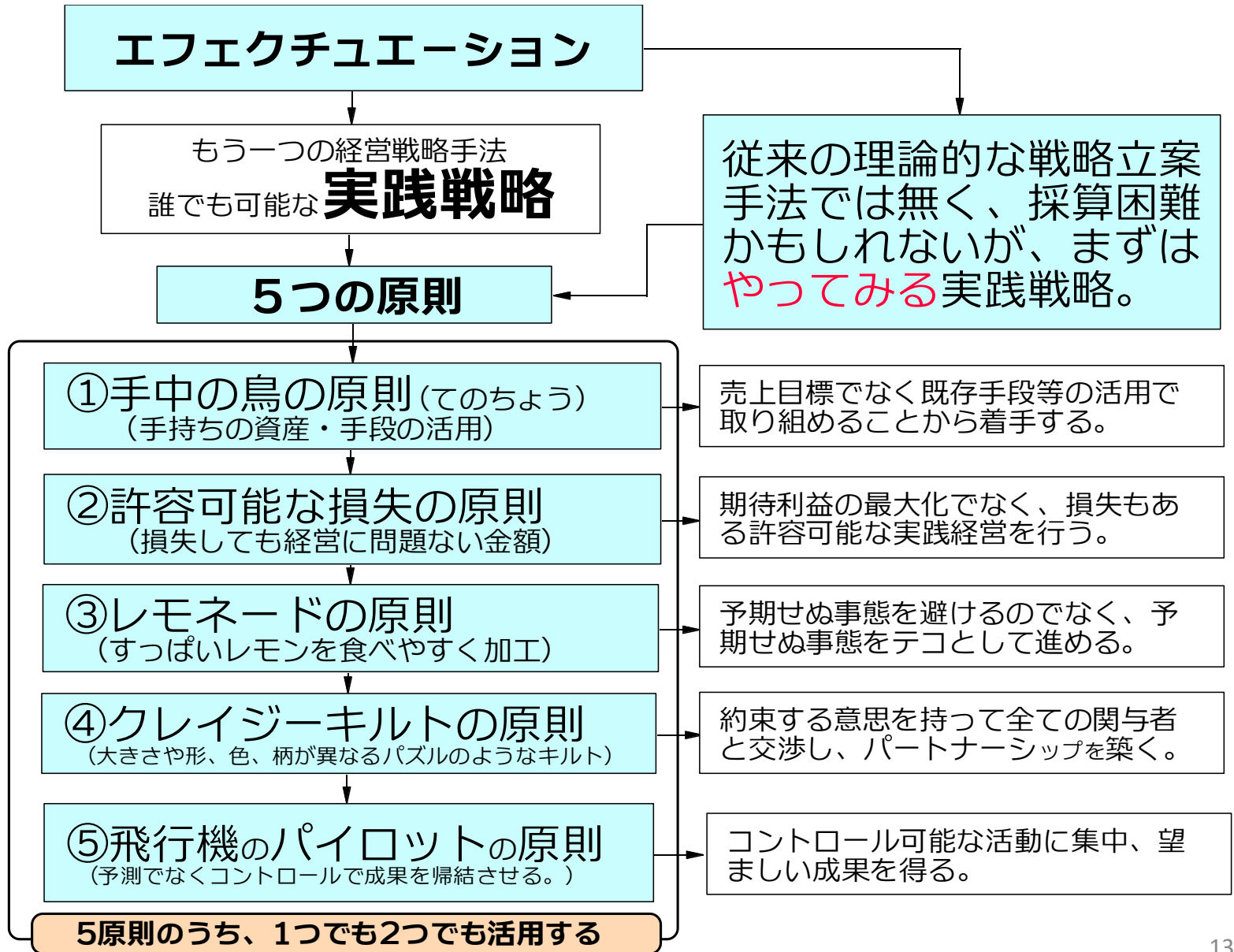
今までの考え方

1. 環境分析 (外部/内部)
2. ニーズはあるか？
3. 資金は？
4. 他の社員の考えは
5. 今一步踏み出せない等

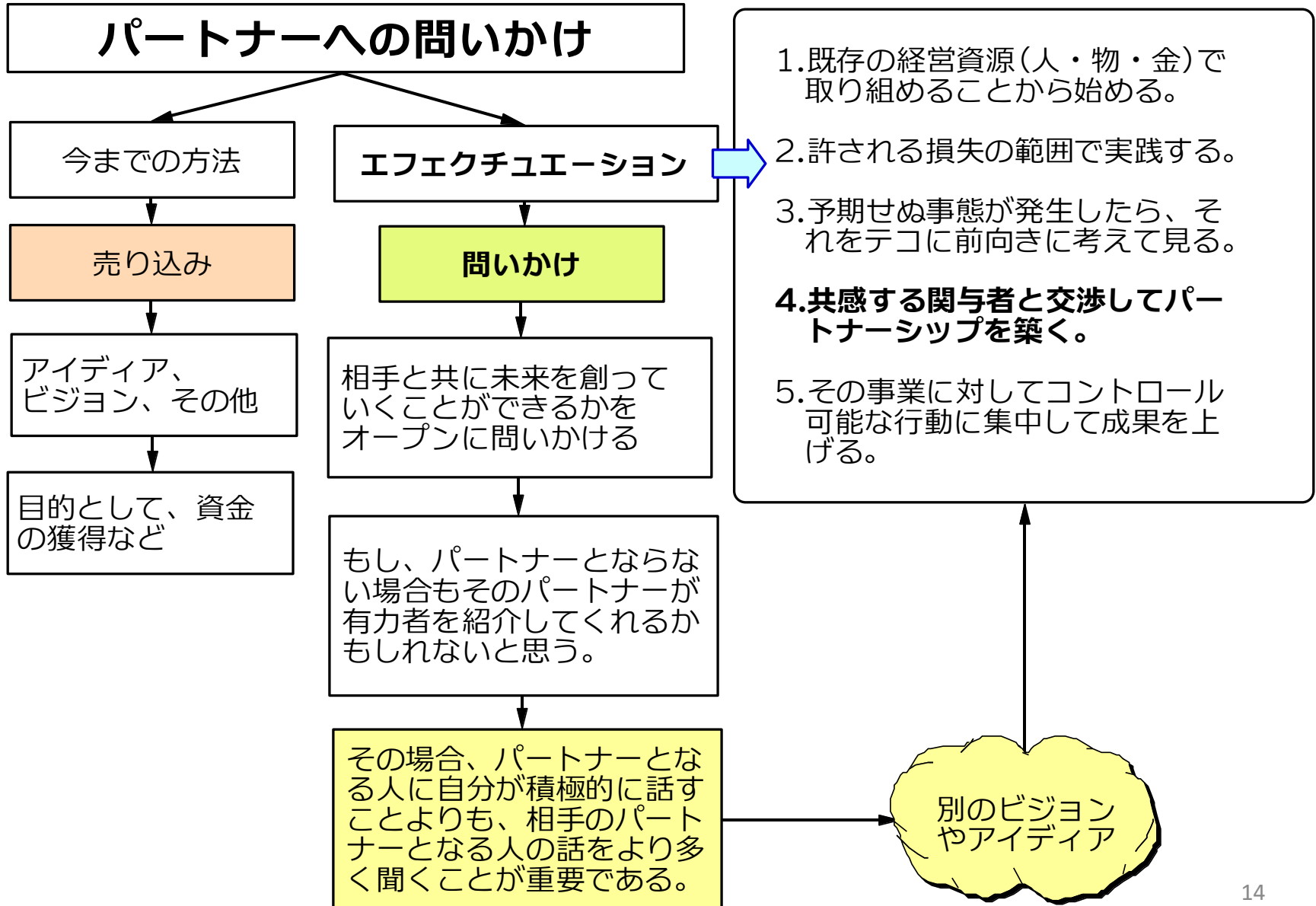
**エフェクチュエーションは**

1. 手持ちの経営資源 (人・物・金) で取り組めることから始める。
2. 許される損失の範囲で実践する。
3. 予期せぬ事態が発生したら、それをテコに前向きに考えて見る。
4. 共感する関与者と交渉してパートナーシップを築く。
5. その事業に対してコントロール可能な行動に集中して成果を上げる。

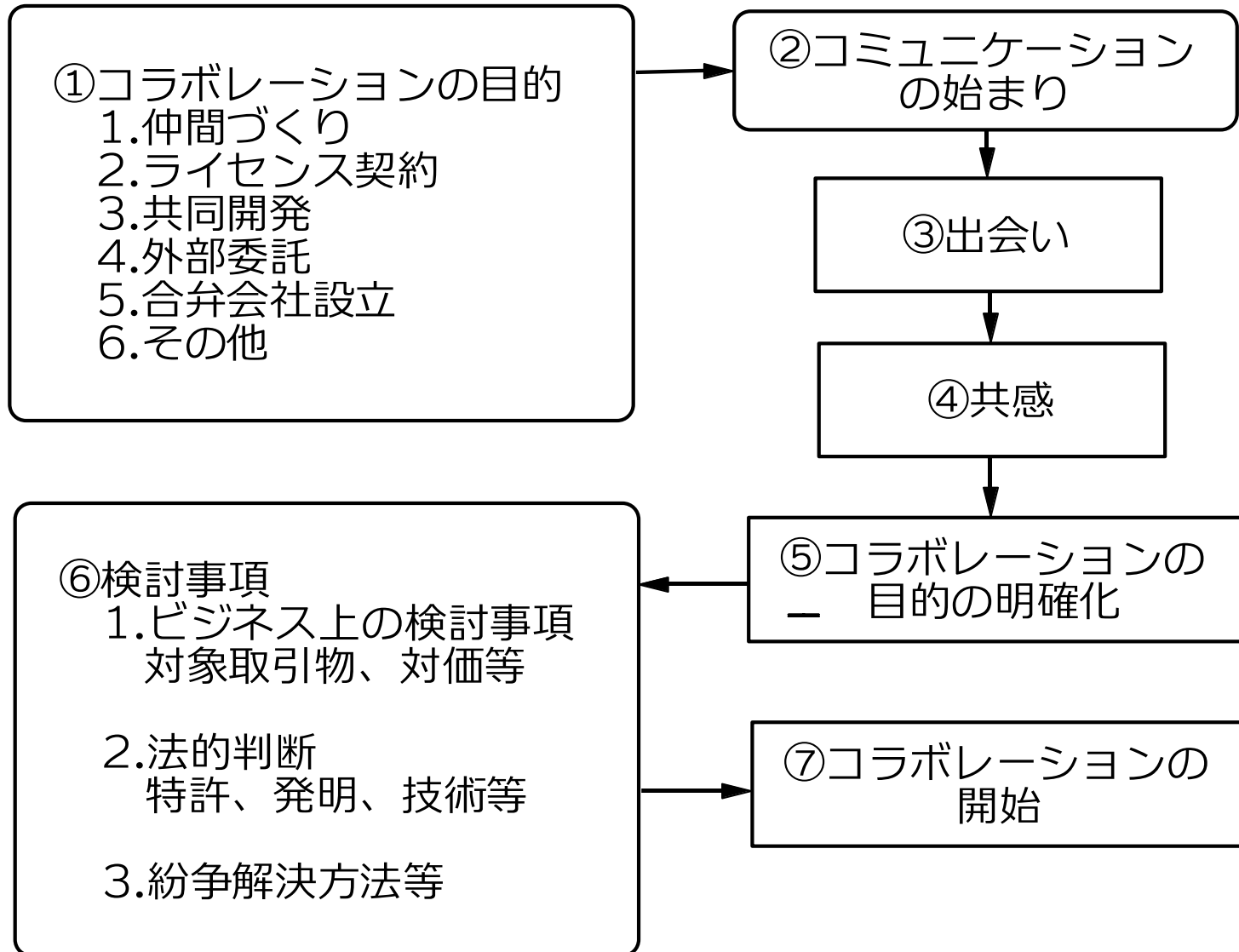
# ② エフェクチュエーションの全体図



# ③ パートナーの支援を得たいとき！



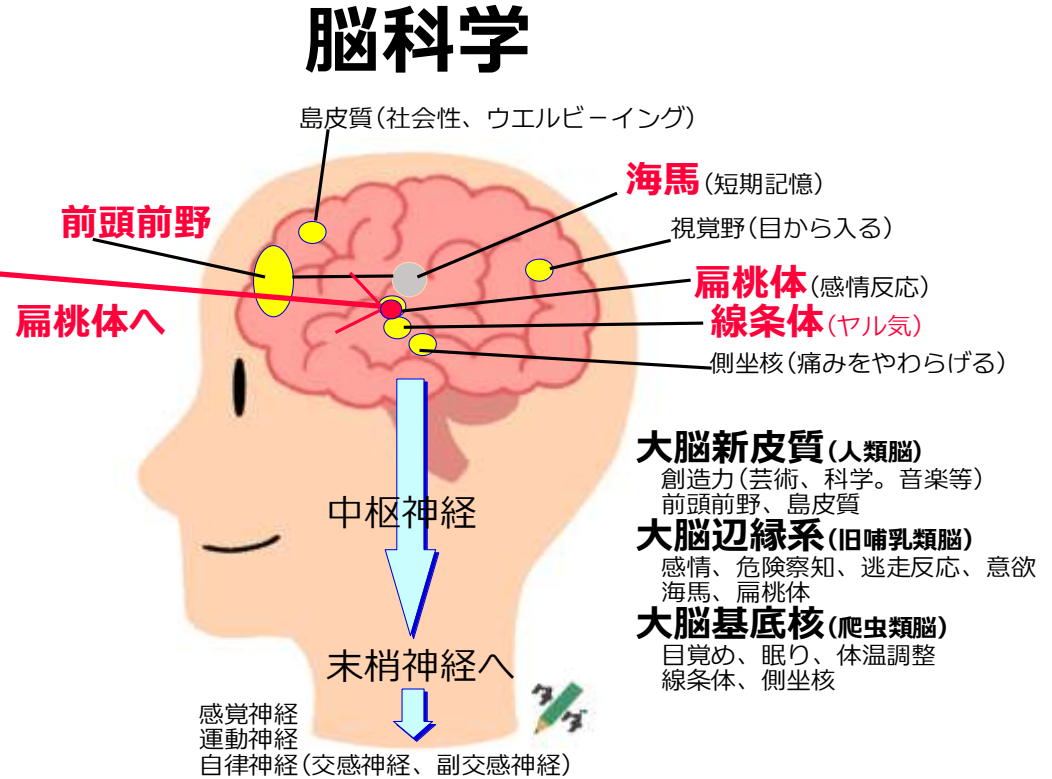
# ④ 第三者とのコラボ(連携)のポイント



# ⑤ ビジネスの始まりは小さな質問から！ そして、習慣化する。

ビジネスの始まりは  
すべて「小さな一歩」

- ① **小さな質問をする**
- ② 小さな思考を活用する
- ③ 小さな行動を起こす
- ④ 小さな問題を解決する
- ⑤ 小さなご褒美を与える
- ⑥ 小さな瞬間を察知する

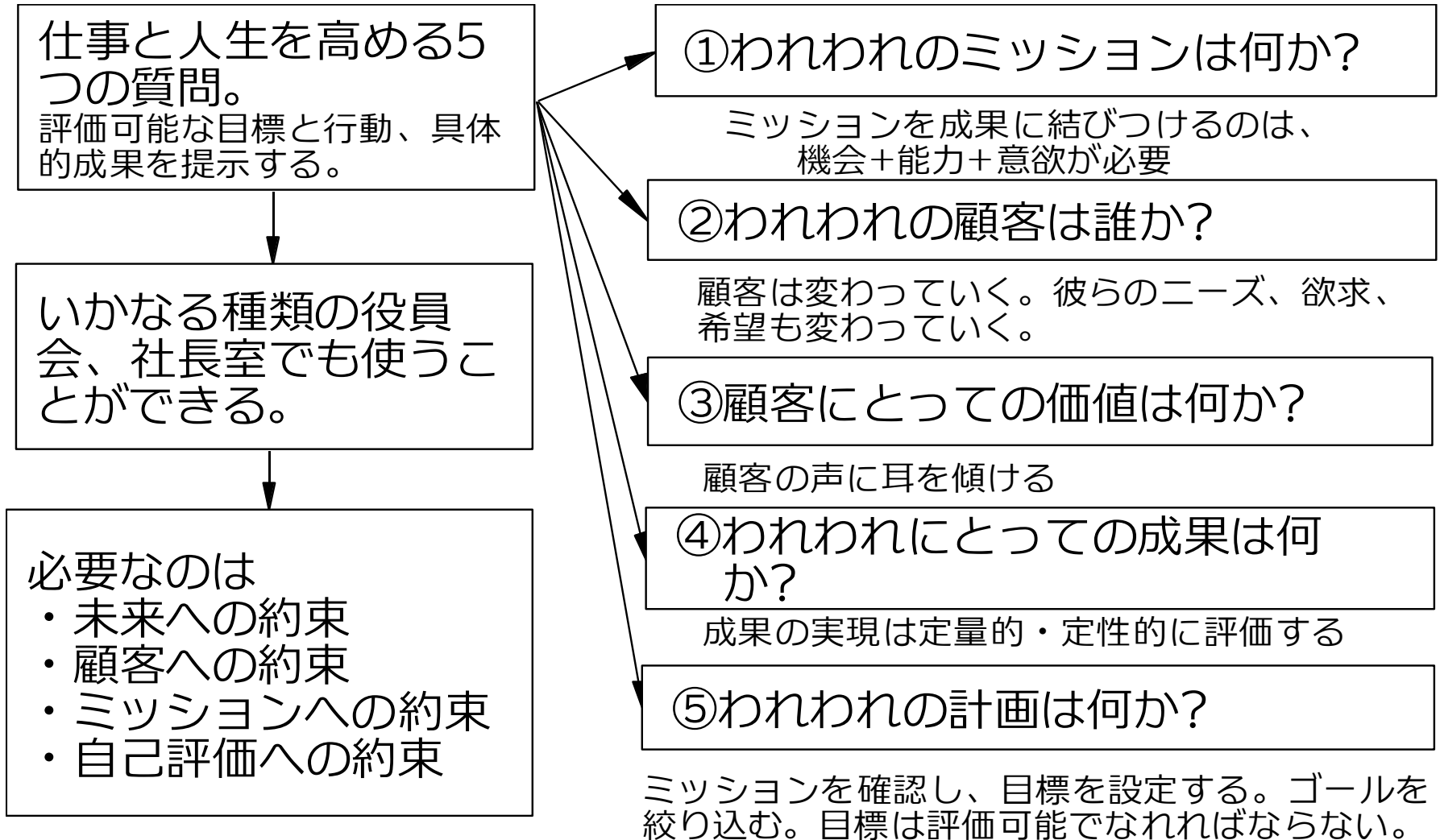


脳が教える1つの習慣(ロバート・マウラー著) 講談社

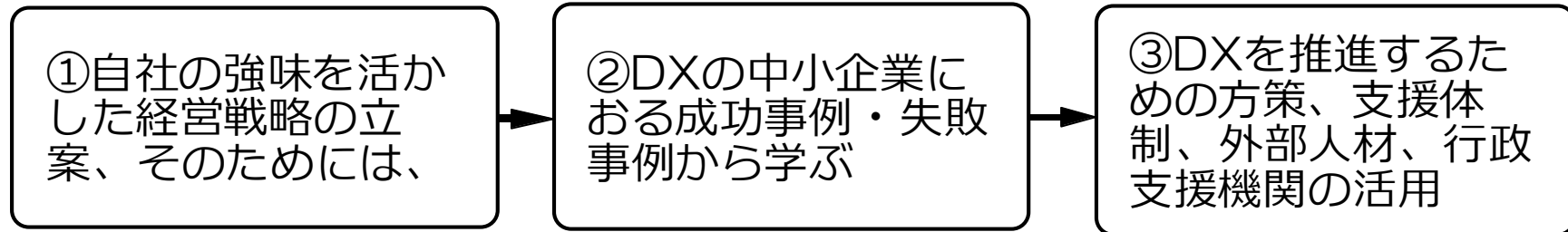
自分の脳へ小さな質問をします。その質問は扁桃体(感情反応を担当)を通過して前頭前野(知的創造性を担当)に到着して創造力を働かせます。そして、海馬でヤル気をアップして中枢神経・末梢神経を通過して行動力に繋がります。

# ⑥ ドラッカーの経営者に贈る5つの質問

経営の見直しが最も求められているのは、成功している時である。



# ⑦ DXとは！ これから全ての企業に必要な **I T 経営戦略**



1. DXが必要な理由：日本が抱える社会的・経済的な課題の解決
  - 少子高齢化による生産人口の減少、地域経済の縮小、災害の頻発と強靱化、インフラ老朽化、データ流通の一層の進展とトラフィックの増加(データ量の増加)、地球の温暖化など。
  - 一人当たりの労働生産性向上、非就労者の労働参加の拡大、都市間格差是正、新たな通信技術の導入など。
  - つまり、中小企業のDX推進(戦略的 I T 化)が急務
2. DXの取り組み：経営者のリーダーシップが成功のカギ。
3. **陥りやすいケース：経営ビジョンが具体的に描かれていない。**
4. **DX取り組み土台づくりから出発：理念、ビジョン、デジタル戦略など**
5. 県の支援を活用：埼玉県DX推進ネットワーク活用
  - 埼玉県DX推進支援ネットワーク
  - 埼玉県中小企業診断協会・小規模企業DX戦略調査・研究委員会

# ⑧ 実践重視経営のまとめ

## エフェクチュエーションとは

経験に基づく戦略

エフェクチュエーションとは  
米国大学教授サスバシーの実験から  
「熟達した起業家に対する意思決定実験から  
得られた知見**【コントロール】によって対処する思考様式から命名した言葉**」

今まで存在しない製品を事業化するという  
極めて不確実性の高い問題に対して、経験  
ある起業家は、5つの特徴的な共通の論理  
を好んで活用していた。エフェクチュエー  
ションとは、それら5つの特徴的な経験則  
であった。

- ① 手中の鳥の原則 (手持ちの手段)
- ② 許容可能な損失の原則
- ③ レモネードの原則 (レモン加工)
- ④ クレイジーキルトの原則 (布切れの組合せ)
- ⑤ 飛行機のパイロットの原則

手持ち資産の活用

そして、社長自身、又は社員が何か新しいこ  
とを考えている場合は、①手中の鳥の原則の  
手段で**既存の資産を活用してまずは実践して  
みる**ことが大切である。

これまでの経営戦略

これまでの経営戦略の発想は、「行動を起こ  
す前に出来る限り市場分析を行い最適な計  
画を立てること」を重視していました。

特に環境分析は、不確実性の高い今日は予測  
可能な場合のみ有効であり、時間と共に変化  
する環境に適応することが困難であった。

試行錯誤

エフェクチュエーションの5原則は、起業や新  
規事業の創出のみでなく、むしろ**あらゆる結  
果の不確実性に伴うチャレンジや新しい何か  
を創造する**プロセスにおいて、**試行錯誤を合  
理的に進めるために活用する**ことができる意  
思決定の一般理論と言える。

例えば、「何をすれば良いか分からない」又  
は「失敗を考えたら躊躇してしまう」ような  
場合は、①の手中の鳥の原則(目的主導で**なく  
既存手段等を活用して取り組みことから着手  
する**)に従う。

終わり